

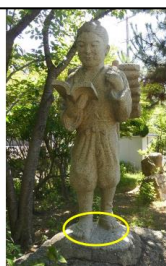
子どもたちの「あふれる笑顔 きらめく瞳」をめざして



中学校区一貫教育校園 玉野市立玉小学校 学校だより第29号（令和4年12月23日）

2学期もよくがんばりました～2学期終業式より～

12月23日（金）、2学期〔発展の学期〕の終業式がありました。3つの学期の中で1番長い2学期は、多くの学校行事があり、慌ただしい中にも、みなさんの成長を感じ、とても嬉しかったです。今回は終業式でみなさんに話したことのおさらいをします。保護者の皆様もご一読ください。



二宮金次郎
（尊徳）

足元が一番大事！

ちょうせんする
2学期にしよう
勉強・生活・行事など

○まずはこうやって、みなさんが無事で終業式を迎えることができたことが何より嬉しいです。

○2学期の始業式で二宮金次郎さんのお話をしました。玉小学校にもある二宮金次郎さんの像の「足元を見よう」と話しました。それは、右足が一步、前に出ています。

【一步前へ】という意味です。「どんな時でも一步を忘れない」、「勇気を出して一步踏み出さなければ何も始まらない」ということでした。

みなさんはこの2学期、勉強や生活、行事などで挑戦できましたか？運動会や校外学習、毎日の授業など、みんなのがんばりは児童朝会や学校だより、学校ホームページでお話ししてきましたが、本当によく頑張ったと思います。そこで「みなさんの気持ちはどうだろうか？」とアンケートを採りました。

家庭学習
をがんばる人



あいさつ
をがんばる人



じかんを
まもる人



ともだち
と仲良く
できる人



その結果、多くの項目で「1学期と比べて頑張ったよ」という人が増えました。例えば上の4つです。



頑張ったと言える人が増えた理由は、先生たちだけでなく、みなさんが自分たちで考え、行動してくれた活動が多かったからだと思います。

例えば【ハッピー集会】です。これは運営委員さんを中心に「玉小のみんなが仲良くなれるように」と実行してくれている活動です。

それから各学年で取り組んでいる【あいさつ運動】です。2学期は、3年生が他の教室に行って呼びかけをしたり、2年生がインターロッキングの上で登校してきた人たちにあいさつをしたりと自分たちで考えて行動できました。とても嬉しいです。そういう活動が増えてくるともっと良い玉小になるとと思います。3学期も頑張しましょう。



心にチャイムをな
らして、きそく正
しい生活をしよう

これをがんばった
といえる《お手
伝い》をしよう

じこなくげん
きに1月6日
をむかえよう

冬休みに頑張してほしいこと

- ①夏休み前にもお話ししましたが、「心にチャイムをならそう」です。休みが続くと、自分で気をつけておかないと、夜ふかしや朝ねぼうをして、だらだらと1日すごしてしまうことにつながります。日課表を作って「この時間がきたら、勉強!」「この時間がきたら、お手伝い!」など、自分で自分の心にチャイムをならして、きそく正しい生活をしましょう。
- ②「これを頑張ったぞと言えるお手伝いをしよう」です。お家の人と話し合っ、自分でできるお手伝いをしましょう。冬休みには、大掃除もあります。そういう時もチャンスです。
- ③「事故なく元気に1月6日の始業式を迎えよう」です。玉小学校でも、2学期に登下校や学校生活の中で、「ひやり」とすることがあったと思います。今から気持ちを引き締めて安全に生活をしましょう。

○3密を避ける
○てあらい・うがい
○適切なマスク着用
(屋内・屋外)

最後に、またコロナ陽性者が全国的に多くなっています。冬休みも、自分でできるコロナ対策をしっかりとしましょう。1月6日、元気な姿で会えることを楽しみにしています。

《発信》から《交信》へ

「《発信》から《交信》へ」

今年度、私は11年ぶりに転勤しました。その際に教え子たちから貰った手紙の中で一人の教え子の手紙にこんなことが書いてありました。

「私は先生の最後の学年通信(第50号)をファイルに綴じて卒業までの1年間、毎日持ってきて、覚えるほど読んでいました」と。たった1枚の通信によって、互いに気持ちのやりとりができたことや、この生徒の生活の後押しに少しはなれたことが、とても嬉しかったです。また、私自身もこのメッセージから勇気を貰い、感謝の気持ちで胸が熱くなりました。



思い返すと、私は若い頃から今までに1000枚程度、通信を書きました。内容や構成など、誇れるものは1枚もありません

が、立場が様々変わっても、生徒や保護者、教職員に伝えたいことを書き、発行しました。通信は書いても書かなくてもよいものですが、なぜ書いていたのかというと、私自身は書くこと、発行することで、様々な効果を感じたからです。

「お知らせ」「説明」という《発信》だけではなく、

「読ませる」「考えさせる」「話題になる」という《交信》を意識することで、生徒間で考えの共有ができたり、保護者に広まったり、保護者と意見交換できたり……そして何より書き手として、生徒の様子や学級・学年の様子をつぶさに見ようとする意識が高めることができました。そして私は口下手なので、通信を生徒に語るための台本として使い、生徒の前で必ず読み、自分の気持ちを語りました。そんな使い方もしました。

教育界では「開かれた学校づくり」と言われて久しいですが、様々なメディアを使って学校の情報をできるだけ発信することが、「開かれた学校づくり」の一步目だと思います。本校の先生たちは様々な立場で通信を発行しており、頭が下がる思いがします。私も通信で「日比中学校の今」を生徒、保護者、地域の方々に《発信》を続け、《交信》を目指していきたいと思っています。

先日、物置の整理をしていると、2年前の我が家の大そうじで見つかった印刷物が目にとまりました。思い返すと、その年はいつもの年より大がかりな大そうじで、いろいろなところをそうじしていると段ボール箱の中から1枚の懐かしい印刷物が出てきました。それは玉野市教育サポートセンターが市内の学校園に月に1度、配付しているもので、平成27年8月号でした。この号には依頼を受けて私が

書いた文章が載っていました。今回、改めて読むと、「**今もこの気持ちは変わっていないなあ**」と思いました。玉小でも今後も子ども達のがんばりや学校の考えなどをこの学校だより「スマイル」や学校ホームページで《発信》し、《交信》にしていきたいと思っています。先日の保護者アンケートでも嬉しいお言葉をいただき、とても勇気をもらいました。ありがとうございました。

保護者の皆様へ

本年も、本校の教育活動にご理解・ご支援いただき、ありがとうございました。クリーン作戦や資源回収、運動会の準備や運営、片付け、また交通査察等、皆様にご協力いただき、感謝しております。来年もどうぞよろしくお願いいたします。よいお年をお迎えください。